

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 健福-23 障害者福祉運営事業 <input type="checkbox"/> 支援部門					タイムスコード及び個別事業名		
	主管課	障害者福祉課		関連課		22	障害者福祉運営事業	
分野名	健康福祉					25	障害者生活支援事業	
目標 (目標値)	福祉運営事業の充実を図る					1187	障害者計画策定	
						921	外国籍等障害者福祉給付金支給事業	
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人口	176,669人	176,484人					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	259,125千円	262,573千円					
	(国・県)	26,785千円	29,448千円					
	(負担金等)	9,873千円	10,441千円					
	(一般財源)	222,467千円						
	人員配置数	3.7人	3.7人					
	人件費	36,128千円	34,755千円					
	協働の パートナー	障害者福祉団体						
事務事業 運営経費	総事業費	295,235千円	297,328千円					
	市民1人当りの経費	1,671円	1,685円					
	対象者1人当りの経費	47,049円	47,718円					
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市		
	通所交通費	○	○	○	○	○		
	市福祉手当	○	○	○	○	○		
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・障害福祉計画の着実な推進を図るため、登載事業の適切な評価など、総合的な進行管理が必要である。 ・障害者地域自立支援協議会を開催し、障害者の生活支援、障害者施策の充実と関係機関の連携を図る ・障害者のさまざまなニーズの増加に対応するため、市内3カ所の相談支援事業所の充実を図る ・市民活動提案事業として「失語症等成人中途言語障害者への支援」を実施する						
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・平成20年度の「障害者福祉計画推進状況報告書」をとりまとめた。 ・地域自立支援協議会については、相談支援、就労支援、地域生活支援の3部会を含め、合計6回開催した。 ・相談支援事業所に対して、居住サポート事業、ケアマネジメント業務などを新たに委託した。また、障害者自立支援法の普及啓発パンフレットを2,000部作成した。 ・「失語症等成人中途言語障害者への支援」として、相談事業、施設訪問事業、講演会などを実施した。						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・地域自立支援協議会においての適切な検討課題のあり方、部会で取組むべき課題の設定、メンバー設定など、より効果的で充実した協議会を運営していくために検討が必要である。						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・障害者地域自立支援協議会の部会数、部会の協議内容などを精査、検討し、より効果的な協議会としていきたい。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	障害者福祉計画の着実な推進、障害者地域自立支援協議会の効果的な運営、市民活動提案事業の充実など今後も取組んでいく。			評価結果	改善の必要性	障害者福祉運営事業について、適正かつ効果的、効率的な事業運営を図っていく。	
A	有				A	有		
課長名		障害者福祉課長 茶木 和夫			部長・部長名		健康福祉部長 石井 和子	